

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5～7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1		環境大学運営費交付金	公立鳥取環境大学の運営に必要な経費の一部を助成するとともに、修学支援新制度に係る経費を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営費交付金の交付</li> <li>施設整備費補助金の交付 6件</li> <li>授業料減免費等交付金の交付</li> </ul>	公立鳥取環境大学の運営に必要な経費の一部を交付することで、安定的な経営確保及び施設整備等を進めるなど、教育環境の充実に寄与することができた。	第3期中期目標（令和6年4月1日～令和12年3月31日）の達成に向け、引き続き県とともに安定的な運営が行えるようにする。県内就職率については、オンライン面接が定着し県外企業への就職活動がしやすくなっていること、県外出身学生の地元志向などの様々な要因により厳しい状況が続いており、大学と県市だけでなく、各種団体等と協力した活動の検討など、県内就職率向上を図る。	企画推進部	政策企画課	76
2	○	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	本市に所在する大学または専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業への就職促進活動や魅力発見活動を支援し、若者の定住につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 2件</li> <li>学生の麒麟のまち圏域内への就職を促進する事業及び学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 1件</li> </ul>	市内大学及び専門学校が学生に対して実施する活動を支援することで、学生の地域への愛着心の醸成や定住意欲の向上を図った。	就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。	企画推進部	政策企画課	77
3	○	舞台芸術×地域活性化事業費	舞台芸術を生かした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出などの取組を一体的に推進することにより、交流・関係人口の創出による地域活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化交流拠点整備事業 旧鹿野幼稚園舎の改修および旧鹿野小学校舎一部解体、アネックス新設実施設計のための経費に対し支援を実施</li> <li>舞台芸術×人材育成モデル事業 プロの俳優・演出を目指す人向けの演劇塾の開催（参加者4名） 市民を対象とした演劇講座の開催（2地区公民館、参加者9名、鑑賞者32名） 小・中学校向け劇場空間体験事業の開催（7校、参加者32名） 企業人材等育成事業の開催（4社、参加者24名）</li> <li>舞台芸術×賑わい創出モデル事業 鳥の演劇祭16（どろぼう学校）開催支援（鑑賞者263人）</li> </ul>	文化交流拠点整備に対する支援および演劇を活用した地域や企業等の人材育成事業を行うことにより、演劇の魅力の発信や地域産業との連携など地域の賑わいを創出することで、文化芸術のまちづくりに貢献した。	「鳥の劇場」の舞台芸術を核とした地域活性化の取組を推進するうえで、人材育成、交流促進、産業振興などの取組を一体的に推進する必要があることを踏まえ、交流拠点整備に対する支援と地域の人材育成、賑わい創出事業に取り組む。	企画推進部	文化交流課	85
4	○	大規模改造事業費（中学校）	構造体の劣化対策やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるなど施設の長寿命化を図ることにより、安全安心な教育環境の確保を図る。	湖東中学校校舎の長寿命化改良Ⅰ期工事（対象施設：教室棟【S53建築】及び教室・特別教室棟【S62建築】／屋上防水、外壁断熱塗装、エレベーター・スロープ・多目的トイレ設置によるバリアフリー化、教室の間仕切り・建具・家具全面改修、廊下・階段・トイレの全面改修など）が完了し、令和6年1月より供用開始した。	経年劣化による機能回復工事及び社会的要求に対応するための機能向上工事（長寿命化改良）を実施することで、快適な学習環境を確保した。	湖東中学校校舎の長寿命化改良Ⅱ期工事は、令和7年2月に完成する見込み（Ⅱ期工事で全ての長寿命化改良は完了）であるが、昨今の気候変動や激甚化・頻発化する災害への対策として文部科学省が推奨する空調整備やトイレ改修（洋式化等）のほか、給食センターや新設学校建設等に伴う財政負担の平準化などの理由により、今後の長寿命化改良の目途が立たっていない状況である。引き続き、国への財政支援要望活動などを行いつつ、長寿命化改良の予算確保に取り組む。	教育委員会事務局	教育総務課	296
5	○	語学指導等外国青年招致事業費	外国語を母国語とする外国語指導助手(ALT)を小中義務教育学校に派遣し、外国の言語や文化に対する理解を深め、外国語でコミュニケーションを図る積極的な態度や能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導助手(ALT)等の配置</li> <li>外国語指導助手(ALT)10名</li> <li>外国語指導助手(ALT)コーディネーター1名</li> </ul>	外国語指導助手(ALT)10名が校区の小中義務教育学校での外国語科や外国語活動の授業を補助し、児童生徒が生徒の英語に触れる機会を充実させ、外国語でのコミュニケーション能力の育成を図ることができた。	一般財団法人自治体国際化協会から斡旋を受けたALTを各中学校に配置するとともに、中学校区内の小学校に定期的に派遣する。また、一般財団法人自治体国際化協会や県教育委員会、学校等関係機関との連絡調整、ALTの生活支援や指導等を行うためにALTコーディネーターを1名配置する。	教育委員会事務局	学校教育課	297

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業 別概要ペー ジ)
6	○	オンライン語学指導事業費 (コロナ克服・新時代開拓 臨時交付金)	生徒が外国人講師と1対1で直接 会話をすることで英語によるコ ミュニケーション能力の育成を図 る。	英語によるコミュニケーション能力の育成に向 けたオンライン授業の実施 ・マンツーマン英会話(中学校2・3年、義務 教育学校8・9年、年6回)	授業後アンケートでは、「トレーニングに集中 して取り組めた84.1%」「トレーニングは楽し かった84.1%」「質問に積極的に答えることが できた83.0%」と肯定的回答の割合が高く、生 徒はオンライン英会話に前向きに取り組んでいる。	英語によるコミュニケーション能力の育成を図 るため、中学校2年・義務教育学校8年生は5 回、中学校3年・義務教育学校9年は4回、ネ イティブスピーカーとのオンライン英会話を実施 する。	教育委員 会事務局	学校教育課	298
7	○	特別支援教育推進事業費	配慮や支援を必要とする児童生徒 一人ひとりの教育的ニーズを把握 し、児童生徒の自立と社会参加に 向けて一人ひとりの能力・適性・ 発達段階及び社会環境に応じた適 切な支援の充実を図る。	・教育支援委員会を3回(年間)開催 ・特別支援教育支援員を67名配置	通常の学級において作成が必要と思われる児童 生徒の個別的教育支援計画作成割合が、令和4 年度末93.9%から令和5年度末93.2%と若干 低下した。	個別的教育支援計画は、障がいのある児童生徒 一人一人に対する指導や支援を組織的・継続 的・計画的に行うために重要なツールである が、保護者の理解や協力を得られないケースが あり、作成率が100%に達していない。児童生 徒一人一人の能力を最大限発揮できるよう保護 者に丁寧な説明を行い、保護者の理解と協力を 得て、作成率100%を目指す。	教育委員 会事務局	学校教育課	299
8	○	児童生徒交流体験事業費	本市の児童生徒が「生きる力」を しっかりと身に付けるために、学 校内だけではなく、姉妹都市提携 を結んだ県外の子どもたちとの交 流や、地域に出かけ自然文化体 験、職業体験などの社会体験活動 を実施する。	・姫路市鳥取市中学生交流事業の実施(オンラ イン) 学校代表 17人 ・郡山市鳥取市小学生交流事業の実施 3校 ・地域で学ぶ職場体験活動事業の実施 17校 1,443人 ・中山間地域ふるさと体験活動支援事業の実施 12校 528人	全国学力・学習状況調査で「地域や社会をよく するために何かしてみたいと思うか」と回答す る割合が令和4年度末小学校51.3%、中学校 42.9%から令和5年度小学校78.7%、中学校 71.6%と小学校、中学校とも上昇した。	姉妹都市提携を結んだ県外の子どもたちとの交 流や、地域に出かけ自然文化体験、職業体験な どの社会体験活動を継続して実施し、「生きる 力」の基礎となる豊かな人間性や、自ら課題を 見つけ解決していかこうとする意欲、態度を育成 する。	教育委員 会事務局	学校教育課 (総合教育 センター)	300
9	○	児童生徒支援事業費	不登校やその傾向にある児童生徒 一人ひとりの要因や背景、教育的 ニーズを把握し、各学校における 教育相談体制の充実や当該児童生 徒の適切な学びの場の整備等を推 進する。	・市不登校対策専門委員会の開催 2回実施 ・児童生徒相談員の配置 14校 ・スクールソーシャルワーカーの配置 8人配 置 ・不登校児童生徒への教育支援の実施 ・サポートルームの運営 ・サポートルーム「すなはま」、「レイン ボー」、「かわはら」、「懐」 ・オンラインサポートルーム運営	不登校児童生徒が学校以外の地域人材や関係諸 機関等の支援につながっている割合が令和4年 度末85.8%から令和5年度末79.5%に低下し た。	不登校の未然防止や児童生徒への支援につい て、関係機関と連携を図り、学校等での取組を 支援するとともに、児童生徒の適切な支援と学 びの場の提供や相談窓口の設置を行い、学校復 帰や社会的自立に繋げる。	教育委員 会事務局	学校教育課 (総合教育 センター)	300
10	○	魅力と徹底の学力向上推進 事業費	学習内容の定着を図る取組を行う ことで学力の向上を図る。	・基礎学力定着支援事業 全小・中・義務教育 学校で活用。対象児童生徒3324名、基礎学力 定着支援員156名、支援回数約2228回 ・3中学校区(湖東中学校区、国府中学校区、 福部未来学園)で実践研究を実施 ・鳥取市共通学力調査 全中学校1~3年生、義 務教育学校7~9年生で実施	全国学力・学習状況調査で「算数・数学の勉強 が好き」と回答する割合は小学校58.0%、中 学校56.3%、「算数・数学の授業がよくわかる」 と回答する割合は小学校74.6%、中学校 70.2%であり、いずれも令和4年度並みもしく は下回っているが、全国との差は小さくなって きている。	今後も魅力ある授業づくりと学習内容の定着を 図る取組をより一層推進することで学力の向上 を図る。	教育委員 会事務局	学校教育課	301
11	○	学校働き方改革推進事業費	全中学校・義務教育学校(後期課 程)に定期テスト等の自動採点シ ステムを導入し、学校における働 き方改革を推進する。	自動採点システムの導入 ・全中学校・義務教育学校(後期課程)17校	令和5年度の指標値を達成する時間外労働時間 となった。	令和5年度の指標値「9月の時間外労働時間の平 均値42.5時間」に対し、実績値は40.5時間と なり、目標を上回る事ができた。	教育委員 会事務局	学校教育課	302

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5～7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
12	○	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費	本市が推進する小中一貫教育を枠組みとして、学校・家庭・地域が連携、協働しながら児童生徒の将来の夢・希望や志をひらき、次世代を担う人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校づくり推進事業の実施 13中学校区、4義務教育学校区</li> <li>コミュニティ・スクールの設置 56校（青谷小・青谷中は2校で学校運営協議会を設置）</li> <li>魅力ある算数・数学等実践推進事業に係る実践研究の実施 中学校区（湖東中学校区、国府中学校区、福部未来学園）</li> <li>自治力育成研究事業に係る実践研究の実施 3中学校区（東中学校区、北中学校区、千代南中学校区）</li> </ul>	各学校において、児童生徒の実態や保護者の意向、地域の特色を踏まえた創意工夫のある取組を推進し、児童生徒アンケートでは「学校が楽しい」について、すべての学年の肯定的回答率が87%以上となり、概ね良好であった。	今後も、鳥取市の目指す子ども像の実現に向け「魅力と徹底による学力の向上」と「豊かなかかわりによる自己有用感の育成」を通して、「自治力のある集団」づくり及び「自立した子」の育成に取り組む。	教育委員会事務局	学校教育課	302
13	○	部活動推進事業費	部活動指導員・外部指導者、地域移行コーディネーターを配置し、学校における動き方改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員の配置（運動部14校53名、文化部16校34名）</li> <li>外部指導者の配置（4校5名）</li> <li>地域移行コーディネーターの配置 統括コーディネーター1名（学校教育課）</li> <li>コーディネーター17名（各中学校）</li> </ul>	部活動指導員を配置した部において顧問教員の部活動指導時間を削減 【運動部】15の部（31%）が前年度比週0.7～4.5時間削減 【文化部】7の部（23%）が前年度比週0.5～3.0時間削減	令和8年度から、休日の活動は地域クラブ活動として実施する。 部活動指導員・外部指導者による休日の単独指導を推進するとともに、受け皿となる地域クラブ活動の運営団体・実施主体について、部活動改革協議会での検討を開始する。	教育委員会事務局	学校教育課	304
14	○	GIGAスクール構想事業費	これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育て、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育の実現に向けてICTを効果的に活用した学習を行うため、ICT環境を整備する。	ICT機器を活用した学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板 16台整備</li> <li>Wi-Fi環境整備助成金 7件</li> </ul>	児童生徒アンケート調査で「授業がよくわかると思う」と回答する割合が令和4年度末小学校87.7%、中学校83.0%から令和5年度末小学校88.2%、中学校81.9%と小学校で上昇した。	子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育を実現し、これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育てるために、継続してICT環境の整備を進める。	教育委員会事務局	学校教育課（総合教育センター）	303
15	○	一般管理費（学校給食センター）	（仮称）第一期鳥取市学校給食センター整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取市学校給食センター整備計画検討委員会の開催 3回</li> <li>基本設計の基礎資料となるモデルプラン作成委託業務 令和5年12月契約締結</li> </ul>	令和5年10月に「第一期鳥取市学校給食センター整備計画」を策定し、新たな学校給食センター整備における建設予定地や事業手法等を定めた。また、基礎平面図となるモデルプランを完成させた。	第一期学校給食センターの令和9年度開設を目指し、整備を進めるとともに、第二期の方向性を検討する。	教育委員会事務局	学校保健給食課	310
16	○	中学校大規模改造事業費（令和4年度国2次補正）	構造体の劣化対策やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるなど施設の長寿命化を図ることにより、安全安心な教育環境の確保を図る。	湖東中学校校舎の長寿命化改良Ⅰ期工事（対象施設：教室棟【S53建築】及び教室・特別教室棟【S62建築】／屋上防水、外壁断熱塗装、エレベーター・スロープ・多目的トイレ設置によるバリアフリー化、教室の間仕切り・建具・家具全面改修、廊下・階段・トイレの全面改修など）が完了し、令和6年1月より供用開始した。	経年劣化による機能回復工事及び社会的要求に対応するための機能向上工事（長寿命化改良）を実施することで、快適な学習環境を確保した。	湖東中学校校舎の長寿命化改良Ⅱ期工事は、令和7年2月に完成する見込み（Ⅱ期工事で全ての長寿命化改良は完了）であるが、昨今の気候変動や激甚化・頻発化する災害への対策として文部科学省が推奨する空調整備やトイレ改修（洋式化等）のほか、給食センターや新設学校建設等に伴う財政負担の平準化などの理由により、今後の長寿命化改良の目的が立っていない状況である。引き続き、国への財政支援要望活動などを行いつつ、長寿命化改良の予算確保に取り組む。	教育委員会事務局	教育総務課	381
17	○	GIGAスクール構想事業費（令和4年度国2次補正）	これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育て、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育の実現に向けてICTを効果的に活用した学習を行うため、ICT環境を整備する。	ICT機器を活用した学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール運営支援センター運営</li> </ul>	児童生徒アンケート調査で「授業がよくわかると思う」と回答する割合が令和4年度末小学校87.7%、中学校83.0%から令和5年度末小学校88.2%、中学校81.9%と小学校で上昇した。	子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育を実現し、これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育てるために、継続してICT環境の整備を進め、同時に機器の効率的な活用ができるようサポートを実施する。	教育委員会事務局	学校教育課（総合教育センター）	382